

暑さは若干残っていますが秋に向かっての北海道です。先日、北海道では話題となっていますウポポイへ行って来ました。ウポポイ正式名称は『民族共生象徴空間』と言いますが、なかなかピンと来ません。アイヌ民族の歴史や文化を正しく学べる施設でコロナの影響で延期となりましたが7/12にオープンとなりました。事前予約によるチケット購入制でしたのでホームページにて予約しました。

残念な事に当日は雨で野外プログラムも中止だったので、国立アイヌ民族博物館を中心に見学しました。こちらもコロナ影響で密を避ける為、予約制となり事前予約をしていました。こちらではアイヌ民族の歴史や、生活様式を過去から現在に至る展示物や写真で見ることができ、初めて見るものが多く、非常に興味を持って見学出来ました。

アイヌ民族の考えでは、人間の周りに存在する生き物や事象のなかで重要な働きをするものをカムイと呼ぶそうです。動植物・木・風などこれらも全てカムイであるそうです。カムイという言葉の起源を知り、感銘を受けました。彼らの住む住居はチセ(家屋)と呼ばれており、敷地の奥に見学できる所がありましたので、雨のなかですが見学して来ました。

残念ながら今回は雨でしたが、天気の良い時に行くことをお勧めします。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

食の秋にちなみ『激うまラーメン』をご紹介します。その名も『かいざんラーメン』。船橋豚骨界頂点を極めたエリアナンバーワンの称号を持つラーメン店！見た目油ギトギトで超こってり、おなか空いている時もそうでないときも皆の幸福度を高めてくれる、その名も『かいざんラーメン』。

赤い軒をくぐった先には、豚骨魂の気合の入った店員さんと、それに真っ向から立ち向かうラーメン好きのお客さんとの真剣勝負。それはラーメン1杯1杯で繰り広げられています。私もその中の誇り高い一員として、胸躍り高ぶる鼓動を抑えるのも精一杯の中、目を瞑り心を静めてレンゲでスープをすくい静かに口元へ。まさかのあっさりスープにジャブを喰らい、ネギとチャーシューのナイスコンビネーションでカウンター炸裂、油が効いた焼きのりが地味にボディブロー。セコンドについたチャーシュー丼はこれ以上ない存在感で、これぞ完全プロモートのセットメニュー。

こんな感動に人生観までも変えてくれそうな場所。ここが私のアナザースカイ！と思っているお客様もいるのかな(笑)

ちなみに私は正真正銘のかいざんリピーターです！

東日本物流センター 東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)



## 世界の拠点から

-From the base in the world-



暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？マスクをしての生活にそろそろ慣れた頃だと思われていますが、マスクをしていると喉の渇きが鈍くなるので、熱中症、脱水症状になりやすくなります。水分補給を意識して予防してください。

さて、今回は長崎県佐世保市で生まれた歌劇団をご紹介します。その名も『歌劇ザ・レビュー ハウステンボス』。宝塚歌劇団出身の方、他有名歌劇団出身の方々と結成され、ハウステンボスの劇場で活動している歌劇団です。その歌劇団が福岡県東区照葉にある複合商業施設アイランドアイに2020年3月より拠点を置き活動を行う予定でした。ですが、新型コロナウイルスの影響で公演は延期に……。私自身は歌劇にそこまで興味がありませんでしたが、コロナウイルスで公演が延期になっているニュースを見て、応援をしたくなってしまい、ご紹介をさせて頂いた次第に御座います……。

初公演延期から3か月後にやっと公演を開始したとのニュース。内容としては全く無知な私ですが、コロナウイルスが落ち着いたら観劇してみようと思います。感想はまた改めて。



福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は名古屋市西区にある四間道(しけみち)を紹介いたします。

名古屋城からの堀川西側右岸から二本目の通りが四間道と呼ばれています。1610年の名古屋城築城とともに始まった清須越しにともなって、商人たちが移り住んだ城下町として始まり、1700年の大火で多くが焼失したため、その後道幅を4間(約7m)に拡張したのが始まりと言われています。

この辺りは、1945年の名古屋大空襲時に比較的破壊を免れたこともあり、多くの古い町屋や土蔵など古い建物・街並みがそのまま残っています。1986年には名古屋市の伝統的建造物の街並み保存地区に指定されています。

その後は、四間道ガラス館、レストランなど急速に商業施設の集積も急速に進みましたが、町屋の2階には屋根神様が祀られていたり、多くの白壁の土蔵が今なお残されたりしています。

江戸の雰囲気と現代の雰囲気が同居する四間道ですが、散策に行かれてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

今年の8月は暑かったですね。お盆休みはコロナの影響で帰省は見送りました。自粛生活と言う声と、予防対策しながらGOTOで活性化との声もありましたね。

ここ数か月の休日は買い物等を除きほとんど家に籠っていましたが、久々に気晴らしに目的地無しのドライブに出かけました。飲み物は保冷バッグにコーヒー、凍ったお茶を入れ、自宅近くのコンビニで購入したおにぎりを追加して走ります。今回は和歌山県の国道42号線をひた走りました。ここは海岸線を長く走れて、今回は渋滞もほとんど無し。景色が良いので気に入った音楽を聴きながら法定速度付近で走っていても気分が良い。

途中、道の駅でトイレを借ります。マイカーの中は、夫婦以外は完全に隔離状態です。道の駅だけはソーシャルディスタンスを意識して、戻った時には持参の消毒液でよく手を洗う。本当は食事やお土産など地元経済の為に金を使ってあげれば良いのですが、ぐっと堪えて素通りしてしまいました。ごめんなさい。ただドライブで帰ってきただけで、移り行く景色とたまに差し込む強烈な陽射しで良い刺激になったと思います。

家に帰り、部屋に入ると徐々に心地よい疲労感も感じる事が出来、夜もぐっすり眠れました。コロナが収まってくれば、色々寄り道をしておいしい物を食べたいと感じました。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

10月～4月までインドネシアは雨のシーズンと言われています。

少し早いですが先週から大雨が週2回ありました。年中暑い気候の中で雨季に入ると少し涼しい感じがします。

普段、早起きなので3時か3時半ぐらいに起きています。部屋の中で30分ぐらいお祈りして、それからモスクにいて朝のお祈りをします。朝は雨があまり降らず、曇っているだけなので、外に出るととても涼しいです。

土日の場合、モスクで朝のお祈りをしてから家内と一緒にジョギングをしています。インドネシアのコロナ感染はまだ増加傾向で、朝のジョギングも、必ずマスクを使います。コロナウイルスが出る前は、週末は友達と一緒にゴルフをやっていましたが、今はほとんどやらず家または家の付近で時間をつぶしています。

朝のジョギング、それから8時頃いつも家の前を通っているおかゆ・バナナフライの店で買って食べたりしています。

コロナによって4月以降現在までガラッと生活習慣が変わり、ショッピングモール、レストランなどは全然行かず、スーパーへ買い物に行くぐらいという日々過ごしています。

早く今のコロナ感染が収束し、通常の生活に戻りたいですが、いつになるか全然見えません。来年もまだ続く可能性が充分にあります。

KJI(インドネシア)(工場長: S.Akhyar)

～バッグや時計だけではないんです～

丸い饅頭を二つに割ると中からは卵の具。中国では中秋節は大切な祝日であり、国の設立記念日である国慶節とも重なるのでこの時期は行楽シーズンとなります。

2020年は10月1日が中秋の名月です。日本では月見団子がおなじみですが、中国では月餅を食べる習慣が古くからあります。一口に月餅と言っても地域により様々です。例えば広東省では『廣式月餅』『粵式月餅』と呼ばれ、ナッツ類が入った塩味系の月餅。首都の北京では皮が薄く甘みと塩味が混ざり『京式月餅』と呼ばれています。上海や江蘇省では豚肉の入った月餅がポピュラーです。人気店では行列のできる場所もあるそうです。私もこれまでにいくつか食べましたが美味しいものもあれば、正直ちょっとパス・・・したくなる味もあつたりします。

最近では欧米企業ブランドによる高級月餅もたくさん見かけます。中国市場では月餅商戦は重要な戦略の一つとなるのでしょうか。私も人から聞いてびっくりしたのですが、ルイ・ヴィトンやエルメス、ディオールなど欧米の高級ファッションブランドからも月餅が売られています。パッケージもさすがに豪華です。バッグや時計だけではないんですね。

得意先に月餅を送るのは日本のお歳暮の習慣と似ている面も感じます。高級月餅・・・機会があれば食べてみたい。どんな味かするんでしょう。

KHE(中国・蘇州)(総経理: 山本 博史)

アメリカのコロナウイルスによる感染被害は拡大を続けています。全米の累計感染者数は580万人を超え、累計死者数は18万人に達しました。1日あたりの新規感染数は、7月後半から減少傾向で、前週の4.7万人から4.2万人と減ってきています。但しカリフォルニアなど一部の州では増減を繰り返しており、また黒人差別への抗議活動によるデモや大統領選挙が11月に迫って来て、それぞれ集会などが予定されていてなかなかソーシャルディスタンスを保つことが難しい状況になってきています。

アメリカでの学校再開については賛否両論があり、このままインターネットを継続するのか、或いは条件をつけて登校させるのか各州で議論になっています。大学におけるスポーツも大きく取り上げられています。

というのも大学運営を支える2競技が間もなくシーズン開幕を迎えるからです。大学には多くのスポーツが存在しますが、収益競技と呼ばれるのはフットボールとバスケットボールだけです。大学にとっては学生の奨学金を始め、様々な施設や研究活動がこれらの競技により支えられています。また大学だけでなく州にとっても収益は重要で地域経済にも大きい影響を与えます。

今年に限ってはかなり縮小されて実施する予定です。大学の2大スポーツは待ちに待ったイベントであり、誰もが観戦などのルールが多少変わって規制があっても、滞りなく実施されることを期待しています。

しかし大学のスポーツは教育の一環でもあり、学生の安全確保を第一に考えてもらいたいと思います。

KCS(アメリカ)(COO: 板垣 仁志)

～良い写真を撮るチャンスはありません～

シンガポールは、コロナウイルス収束のため状況を厳しく管理しています。今のところ経済を開放するほどの大きな変化は見られません。

写真撮影で人気スポットであるガーデンズ・バイ・ザ・ベイでは、中秋節を祝うライトアップが開始されます。今のところ観光客はいませんが、地元の方がたくさん訪れるでしょう。写真を撮る際もマスク着用との警告があるのでがっかりするかもしれません。

現在、外出する際、飲食・運動時以外はマスク着用が必須です。子供も含め全ての人がマスクを着用しているか確認するため、シンガポール全土に警官が配置されています。ペナルティはありませんが、着用していない場合は警官から促されます。

将来、写真を振り返った時、小さい子供たちはなぜみんなマスクをしているのかと聞きましょう。これは、世界がコロナと苦闘して戦った良い思い出を呼び起こすことでしょう。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

～定番ボツシュ料理～

KIOオランダがあるここデン・ボツシュには、定番料理があります。よく知られており、各地から食べにやってきます。今回はその料理をご紹介します。

・ボツシュボール

チョコレートボールとも呼ばれ、定番料理です。ボール状のホイップクリームがチョコで包まれており、オランダで長く知られています。考案者がこの街出身だったためこの名前がつけられました。人気があり、多くのパン屋で作られています。誕生日や記念日に食べられます。

・ヘフルデクー

ライ麦粉、コーンシロップ、果糖シロップ、ショウガなどでできた甘くスパイシーなケーキです。日中の間食や、昼食後のサイドディッシュとして食べられています。

私は、この街からそれほど遠くない小さな村出身ですが、この街をもっと知るため調べ、街の中心部に行き、実際に食べました。

・フリットモン

この街で最も美味しいフライドポテトです。ソースが特別で、このソースはマヨネーズ、カレー、ケチャップ、マスタード、玉葱、パプリカパウダーで作られています。誰もが知っている材料ですが、混ぜ合わせることで非常に美味しいソースが出来上がります。

・ボツシュボーレンリキュール

ボツシュボールを液体にしたものです。風味豊かでとても強いリキュールです。

KIO(オランダ)(Jan van Mier)